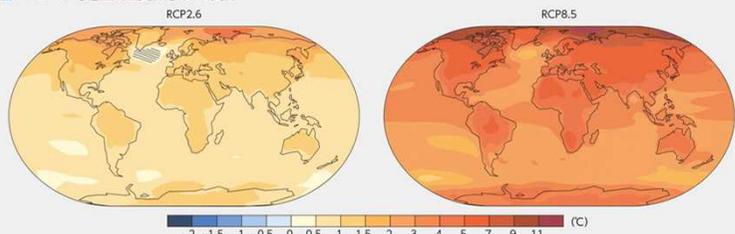


第五次環境基本計画の 方向性について（案）

2017年12月
中央環境審議会
総合政策部会事務局

我が国が抱える環境・経済・社会の課題

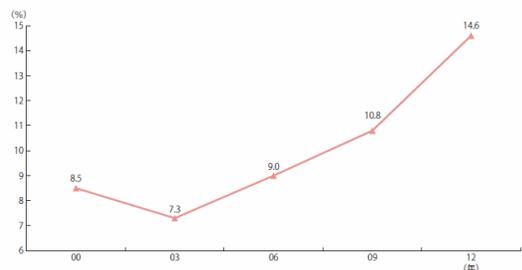
図1-1-3 平均地上気温変化分布[※]の変化



※：1986～2005年平均と2081～2100年平均の差
資料：IPCC「第5次評価報告書統合報告書政策決定者要約」より環境省作成

平均地上気温変化分布の変化(H29環境白書より)

第2-2-10 商店街の空き店舗率の推移



資料：中小企業が委託「平成24年除染店街実態調査報告書」(2012年11月、(株)アストジェイ)
(注) 空き店舗率=空き店舗数÷店舗数

商店街の空き店舗率の推移
(中企庁HPより)

経済の課題

地域経済の疲弊
新興国との国際競争
AI、IoT等の技術革新への対応
など



人工知能のイメージ
(産総研HPより)

環境の課題

温室効果ガスの大幅排出削減
資源の有効利用
森林・里地里山の荒廃、野生鳥獣被害
生物多様性の保全 など



ニホンジカによる被害
(環境省HPより)

相互に関連・複雑化



我が国人口の長期的推移
(国交省HPより)

社会の課題

少子高齢化・人口減少
働き方改革
巨大災害への備え など



H29年7月九州北部豪雨
(国交省HPより)

環境・経済・社会の
統合的向上が求められる！

持続可能な社会に向けた国際的な潮流

2015年9月に「**持続可能な開発のための2030アジェンダ**」（複数の課題の統合的解決を目指す**SDGs**を含む）が採択。

2015年12月に「**パリ協定**」（2 目標達成のため、21世紀後半には温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目的）が採択。

これらの目標を達成するためには、これまでの対策の延長ではなく、環境・経済・社会をともに変えていき、**持続可能な社会を目指す**ことが必要。

「持続可能な開発のための2030アジェンダの持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



(資料:国連広報センター)

パリ協定の採択(2015年12月、フランス・パリ)



(写真:気候変動枠組条約事務局)

第五次環境基本計画の基本的方向性

目指すべきもの

1. 「**地域循環共生圏**」の創造。
(自立・分散型の社会、地域どうしの支え合い)
2. 「**世界の範となる日本**」の確立。
(公害を克服した**歴史**、 高い**環境技術**、
「もったいない」などの**循環**の精神や
自然と**共生**する伝統を有する我が国だからこそ
できることがある)
3. これらを通じた、真に持続可能な「**循環共生型社会**」(いわば「**環境・生命文明社会**」)の実現。



地域循環共生圏

各地域がその特性を生かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて補完し支え合う

取り組むべきこと

1. SDGs の考え方を活用し、**環境・経済・社会の統合的向上を具体化**。
(環境政策を契機として、我が国が抱える**経済、地域、国際などの諸課題の同時解決**を図り、**中長期的な成長**につなげていくため、分野横断的な6つの重点戦略を設定)
2. あらゆる**関係者と連携**。
(環境・経済・社会の統合的向上を達成するためには、**経済・社会の関係者ともパートナーシップを充実・強化させることが必要**)
3. **地方部の地域資源を持続可能な形で最大限活用**し、**経済・社会活動を向上**。
(地方部の維持・発展にもフォーカス。**環境で地方を元気に!**)

第五次環境基本計画における施策の展開の方向性

我が国が抱える環境・経済・社会の課題や国際的な潮流を踏まえ、**6つの重点戦略を設定**。
パートナーシップ（各主体との連携）の下、環境・経済・社会の**統合的向上を具体化**。
社会システム・ライフスタイル・技術といったあらゆる「**イノベーションの創出**」を目指す。

6つの重点戦略の概要（検討中の骨子）

持続可能な生産と消費を実現するグリーンな 経済システムの構築

環境ビジネスを我が国経済の牽引力
となるよう育成

国内資源の最大限の活用による国際収支の
改善・産業競争力の強化

金融・税制等を活用した経済システムのグリーン化



洋上風力発電施設
(H28環境白書より)

国土のストックとしての価値の向上

市街地のコンパクト化等、
持続可能で魅力あるまちづくり

自然資本の維持等、自然との共生を軸とした
国土の多様性の維持

自然環境が持つ多様な機能を活用した
レジリエンスの向上



土砂崩壊防備保安林
(環境省HPより)

地域資源を活用した持続可能な地域づくり

地域資源の最大限の活用により環境配慮型の
投資・消費を活発化

都市と農山漁村等、地域が相互に交流する
広域ネットワークづくり



バイオマス発電所
(H29環境白書より)

健康で心豊かな暮らしの実現

森里川海を中核とした人・自然がつながる
ライフスタイル・イノベーションの推進

環境にやさしく健康で質の高い生活への転換

安全・安心な暮らしの基盤となる水・大気など
良好な環境の保全



森里川海のつながり
(環境省HPより)

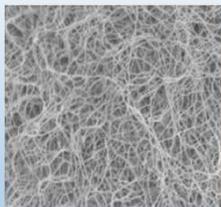
持続可能性を支える技術の開発・普及

持続可能な社会の実現を支える

最先端技術の開発

生物・自然の摂理を応用する技術の開発

社会実装の推進



セルロースナノファイバー
(H29環境白書より)

国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と 戦略的パートナーシップの構築

国際的なルール作りへの積極的関与・貢献

「課題解決先進国」として海外における
「持続可能な社会」の構築支援



日本の開発協力
(2016年版開発協力白書より)

重点戦略を支える環境政策（検討中の骨子）

環境政策の根幹となる環境保全の取組は、揺るぎなく着実に推進

気候変動対策

パリ協定を踏まえ、地球温暖化対策計画に掲げられた各種施策等を実施
気候変動の影響への適応計画に掲げられた各種施策を実施



フロンガス回収
（環境省HPより）

循環型社会の形成

循環型社会形成推進基本計画に掲げられた各種施策を実施



廃棄物分別作業
（環境省HPより）

生物多様性の確保・自然共生

生物多様性国家戦略2012-2020に掲げられた各種施策を実施



絶滅危惧種
（イタセンパラ）

環境リスクの管理等の基盤的な施策

水・大気・土壌の環境保全、化学物質管理、環境保健対策、環境影響評価、
環境研究・技術開発、環境教育・環境学習、環境情報 等



水環境保全
（環境省HPより）

東日本大震災からの復興・創生及び今後の大規模災害発災時の対応

中間貯蔵施設の整備等、帰還困難区域における特定復興再生拠点の整備、
放射線に係る住民の健康管理・健康不安対策、資源循環を通じた被災地の復興、
災害廃棄物の処理、大気環境対策 等



中間貯蔵施設
土壌貯蔵施設

計画の効果的実施

- 国及び各主体による取組の推進、計画の点検・指標の活用、計画の見直しについて記載。
- 重点戦略に係る点検は、優良事例のヒアリングを中心に実施。

環境保全施策の体系

- 環境保全施策の全体像を把握できるように構成。